

後期5年間の必要額の算定

参考資料4

現行「富山県森づくりプラン」10年間(H19~28)

前期5年間(H19~23)の実績見込み

後期5年間(H24~28)の計画

前期計画と後期計画の必要額の増減の内容

県土を支える多様な森づくり	○里山林の整備 2,000ha ・里山管理利用計画の策定 ・森林整備(里山林の整備、竹林の整理など) ・県民参加の森づくり(地区の活動支援)	前期5年間	4~5億円程度
	○混交林の整備 2,000ha ・風雪被害林の倒木等整理 ・過密人工林での整理伐 ・更新補助作業(植栽、保育) ・施業区域の確認	前期5年間	7~8億円程度

○里山林の整備 1,298ha ・里山管理利用計画の策定 ・森林整備(里山林の整備、竹林の整理など) ・県民参加の森づくり(地区の活動支援) ・加が 被害枯損木の整理 (県民からのアイデア提案により実施)	5年間	6.50億円
○混交林の整備 700ha ・風雪被害林の倒木等整理 ・過密人工林での整理伐 ・更新補助作業(植栽、保育) ・施業区域の確認	5年間	6.35億円

○里山林の整備 1,300ha ・里山管理利用計画の策定 ・森林整備(里山林の整備、竹林の整理など) ・県民参加の森づくり(地区の活動支援) ・加が 被害枯損木の整理	5年間	7.18億円	1. 竹林の整理面積の増(182ha⇒200ha)により約18百万円の増 2. 県民参加の森づくり活動支援地区数の増により約50百万円の増
○混交林の整備 800ha ・風雪被害林の倒木等整理 ・過密人工林での整理伐 ・更新補助作業(植栽、保育) ・施業区域の確認 ● 侵入竹林の整理	5年間	6.53億円	1. 風雪被害林の倒木等整理面積の減(190ha⇒50ha)により約250百万円の減 2. 過密人工林での整理伐面積の増(510ha⇒600ha)により約48百万円の増 3. 侵入竹林の整理面積皆増(0ha⇒150ha)により約222百万円の増
○多様な森づくり ● カシノナガキクイムシ被害跡地への県産広葉樹の植栽 ● 優良無花粉スギの植栽	5年間	1.10億円	・新たな課題に対応した”多様な森づくり”を推進する。 1. 県産広葉樹苗木植栽面積皆増(0ha⇒50ha)により約59百万円の増 2. 優良無花粉スギ植栽面積皆増(0ha⇒40ha)により約51百万円の増

とやまの森を支える人づくりなど	○森林ボランティア活動への支援 ・森づくり懇話会 ・サボセンPRなど広報活動 ・ボランティア活動支援 (保険料、機器の貸出など) ・森づくり塾の開催など	前期5年間	1.25~1.5億円程度
	○県民参加の森づくりを支えるための事業 ・総合情報システムの整備 ・森林環境教育等、森づくりへの県民意識の醸成 ・県産材の有効利用など	前期5年間	2.75~3億円程度
	○提案型事業の創設 ・プランの主旨に沿った事業提案を幅広く募集	前期5年間	0.4~0.6億円程度

○森林ボランティア活動への支援 ・森づくり懇話会 ・サボセンPRなど広報活動 ・ボランティア活動支援 (保険料、機器の貸出など) ・森づくり塾の開催など	5年間	1.23億円
○県民参加の森づくりを支えるための事業 ・総合情報システムの整備 ・森の寺子屋など森林環境教育 ・県産材の有効利用など (県産スギベンチの設置、公共施設の木質化、学童机県産天板に置き換え、木製遊具の製作など)	5年間	1.83億円
○提案型事業 ・県民自ら提案し実践する事業 ・森づくり事業へのアイデア提案	5年間	0.44億円

○森林ボランティア活動への支援 ・森づくり懇話会 ・サボセンPRなど広報活動 ・ボランティア活動支援 (保険料、機器の貸出など) ・森づくり塾の開催など	5年間	1.50億円	・引き続き、「とやまの森づくりサポートセンター」が、森林ボランティア等を総合的・専門的に支援し、県民参加による森づくり活動を支援する。 1. ボランティア数の増加を見越して20%程度の増額 約27百万円の増
○県民参加の森づくりを支えるための事業 ・総合情報システムの整備 ・森の寺子屋など森林環境教育 ・県産材の有効利用など	5年間	1.75億円	・引き続き、県民全体で支える森づくりを推進していくため、森づくりに関する情報提供に努めるほか、森林環境教育の実施や県産材の有効活用に取り組み、森づくりへの県民意識の醸成を図る。 1. システムの初期開発経費相当 約8百万円の減
○提案型事業 ・県民自ら提案し実践する事業 ・森づくり事業へのアイデア提案	5年間	0.50億円	・引き続き、県民、ボランティア団体等が自ら提案し実践する事業を支援する。 1. 年間10百万円を確保、6百万円の増

推進活動	○森づくりの計画、実行、評価、広報 ・水と緑の森づくり会議 ・森林審議会森づくり部会 ・県民参加の森づくりフェア	5年間	0.13億円
------	---	-----	--------

○森づくりの計画、実行、評価、広報 ・水と緑の森づくり会議 ・森林審議会森づくり部会 ・県民参加の森づくりフェア	5年間	0.17億円
---	-----	--------

○森づくりの計画、実行、評価、広報 ・水と緑の森づくり会議 ・森林審議会森づくり部会 ・県民参加の森づくりフェア	5年間	0.17億円	・引き続き、森づくりの計画、実行、評価・改善の各プロセスにおいて、幅広い県民の参加を得ながら推進する。 1. H22からスタートした県民参加の森づくりフェアを継続して実施 約4百万円増
---	-----	--------	---

事業支出計	前期5年間	15~18億円程度
	年間	3~3.6億円程度

5年間	16.48億円
年間	2.7~3.5億円

5年間	18.73億円
年間	3.66億円

H23末基金残高 0.38 億円の見込み

5年間で約1億1千万円不足

税収	○個人負担額 1人年間500円	5年間	16.5億円程度
	○法人負担額 資本金等の額に応じた均等割額の5% 年間1,000~40,000円	年間平均	3.3億円程度 (初年度2.3億円程度)

○個人負担額 1人年間500円	5年間	16.86億円
○法人負担額 資本金等の額に応じた均等割額の5% 年間1,000~40,000円	年間平均	3.37億円

【現行どおりとした場合】 ○個人負担額 1人年間500円	5年間	17.25億円
○法人負担額 資本金等の額に応じた均等割額の5% 年間1,000~40,000円	年間	3.45億円